

令和元年度 宮城県中学校総合体育大会

第68回 宮城県中学校総合体育大会柔道競技要項

1 目的 この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広く柔道実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦をはかるものである。

2 会期 令和元年7月20日(土)～23日(火) (※7/20午後4時から会場準備)
7月21日(日) 8:00 開館・受付(団体試合) ※1F研修室
選手・観客は2階入口から(3日間通して)
8:00～8:45 非公式軽量(団体試合出場者)
8:45～9:30 公式計量・柔道衣点検(団体試合出場者)
9:45～10:15 監督・審判会議 ※剣道場
10:30～10:50 開会式
11:10 競技開始(男女団体試合予選リーグ)
15:00 男女団体試合決勝トーナメント抽選
7月22日(月) 8:00 開場
9:00 審判, 監督打合せ ※剣道場
9:30 男女団体試合決勝トーナメント
12:00 表彰式
12:30 男女個人試合受付 ※1F研修室
12:30～13:15 非公式軽量(個人試合出場者)
13:15～14:00 公式計量・柔道衣点検(個人試合出場者)
14:15～14:30 監督会議 ※剣道場
7月23日(火) 7:30 開場
8:20～8:50 監督会議・審判会議 ※剣道場
9:00～ 競技開始(個人試合)
15:00～ 表彰式(男女個人試合)・閉会式
※会場が明記されていないところは、すべて柔道場で行う。
*: 試合の進行によって時程変更あり。

3 会場 『宮城県武道館』 〒982-0844 仙台市太白区根岸町15-1 TEL022-249-1216

4 監督・引率 (1) 監督, 引率は当該校の校長・教員・部活動指導員(※1)とする。ただし, 部活動指導員は教育委員会設置要項のもと, 以下の条件を満たしていなければならない。
①満20歳以上であること。
②主催者からの要望があった場合, 大会運営に協力する姿勢があること。
③他校と兼務していないこと。
④中学校体育連盟の主催する研修会を受講していること。
⑤次のいずれかに当てはまる者とする。
ア 教育職員免許法に基づく免許を有する者。
イ 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者。
ウ 競技の専門性と学校教育に関する理解を有し, 適切な指導を行うことのできる者。
※1 ここでいう「部活動指導員」は, 学校教育法施行規則第78条の2に示されている者であり, 学校設置者により任用されている者をいう。
(2) 部活動指導員が監督, 引率をする場合は, 教育活動の一環としての大会であるとの観

点から、「顧問または当該部活動を担当する教諭等」(※2)がチームに帯同すること。

※2 「学校教育法施行規則の一部を改正する省令」1 部活動指導員の職務第2 留意事項(3)(4)より。

- (3) 大会では外部コーチをおくことができる。ただし、外部コーチは出場校の校長が認めたものとし、所定の「外部コーチ申請書」に必要事項を記入し大会委員長に参加申し込み時に提出すること。しかし、当該校以外の中学校教職員は外部コーチになれない。また、同一人が複数校の外部コーチにはなれない。1校につき1名(他校と兼ねることはできない)を認め、申請書を届け出ること。

コーチの条件とは次の通りである。

- ① 当該校の校長が認めた者。
- ② 年間を通じ、日頃から学校の部活動を指導している者。
- ③ 中体連の大会運営に関して、理解を示し、協力的な者。
- ④ 外部コーチは、中学校の教職員でないこと。
- ⑤ 審判員に準じた服装をすること。

※大会運営上支障をきたすと大会本部が判断した場合は、会場より退場をさせる事もある。

- (4) 引率・監督は、審判員に準じた服装をすること。

5 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2018~2020)及び国内における「少年大会特別規定」、今大会申し合わせ事項によって行う。
- (2) 柔道衣は白色とし、女子の黒帯は白線入りを不可とする。
- (3) (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。
- (4) 柔道修行6ヶ月未満の者は、大会に出場できない。ただし、保護者の同意を得た場合は別とする。

6 競技方法

- (1) 団体戦

- ① 抽選により男子は6組、女子は8組に分け、各組でリーグ方式を行い、各組の2位男子12チーム、女子16チームによって決勝トーナメント方式を行う。
- ② 男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
- ③ チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。

※選手変更は、1つ前の試合が始まる前までに、その都度監督が所定の用紙に記入し、所定の手続きを行う。

- ④ 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ⑤ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差(『指導』の差2以上)」とする。
- ⑥ 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」=「反則勝ち」>「技あり」>「僅差」

- ⑦ リーグ方式では、チーム間の内容が同等の場合は引き分けとする。また、リーグ方式の順位は、次の方法によって決定する。

ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。

ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。

エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。

オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。

カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回を行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する(3校同等の場合は、代表者3名による

リーグ方式を行う)。

- ⑧ トーナメント方式の勝敗は、次の方法によって決定する。
- ア チーム間における勝ち数による。
 - イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
 - ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
- ⑨ 代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。

(2) 個人戦

- ①男女とも、各階級トーナメント方式で行う。ただし、出場者が3名の場合はリーグ戦で行う。
- ②試合時間は3分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ③勝敗の判定基準は、「一本」「技有」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦では技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点でその選手を負けとする。
- ④上位大会の出場権をかけた試合において、両者反則負けの場合には、抽選によって権利者を定める。

7 参加数

(1) 団体試合、個人試合とも令和元年度種目別一覧、出場枠備考欄参照のこと。

- ① 団体戦のチームは、1校単位で編成したチームとする。
- ② 男子チームの人員は、選手8名以内(選手5名・補欠3名)とする。
- ③ 女子チームの人員は、選手5名以内(選手3名・補欠2名)とする。

(2) 個人戦は男女とも8階級とする。また、体重区分は次の通りとする。

- | | | |
|-----|---------------------|---------------------|
| ①男子 | 50kg級(50kg以下) | 55kg級(50kg超～55kg以下) |
| | 60kg級(55kg超～60kg以下) | 66kg級(60kg超～66kg以下) |
| | 73kg級(66kg超～73kg以下) | 81kg級(73kg超～81kg以下) |
| | 90kg級(81kg超～90kg以下) | 90kg超級(90kg超) |
| ②女子 | 40kg級(40kg以下) | 44kg級(40kg超～44kg以下) |
| | 48kg級(44kg超～48kg以下) | 52kg級(48kg超～52kg以下) |
| | 57kg級(52kg超～57kg以下) | 63kg級(57kg超～63kg以下) |
| | 70kg級(63kg超～70kg以下) | 70kg超級(70kg超) |

8 計量・柔道衣点検

計量および柔道衣点検は、下記の方法にて行う。

(1) 【計量】

- ① 公式計量の前に非公式計量(仮計量)を行うことを認める。
- ② 非公式計量では、指定時間内に自由に体重を測定することができる。
- ③ 公式計量は指定された時間内に1回とし、再計量は一切認めない。
- ④ 公式計量の服装は、男子は下穿き、女子はTシャツと下穿きの着用を認める。

なお、下着の着用は認めるが、包帯・サポーター等の着用は一切認めない。

- ア 団体戦 ○チームごとに登録選手全員が測定を行うこと。
○公式計量には監督が立ち会うこと。
○順番の入れ替え等があった場合は通知する。

- イ 個人戦 ○定められた階級の体重区分内にはない者は失格とする。

※別室計量が必要な者は、あらかじめ申し出ること。

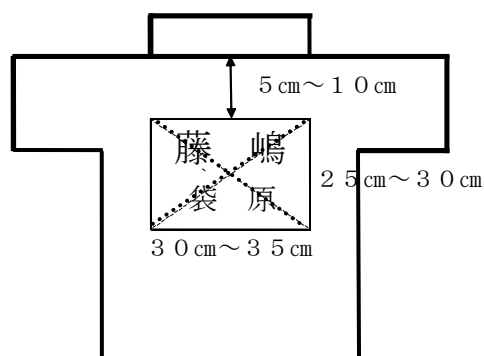
(2) 【柔道衣点検】

- ① 公益財団法人 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用する。

- ②柔道衣に必ずゼッケン（学校名・名字入り）を縫い付けて出場すること。
- ア 布地は白（晒，太綾）とする。
 - イ サイズは横30～35cm，縦25～30cmとする。
 - ウ 名字（姓）は上側2／3，学校名は下側1／3とする。
 - エ 書体は太字ゴシック体とする（明朝または楷書でもよい）。
 - オ 文字色は，男子は黒色，女子は濃い赤色とする。
 - カ 縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で，周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- ③女子は，上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。 ※Tシャツのマーキングについては，全日本柔道連盟が定める規程（平成25年4月1日より施行）に準ずる。
- ④柔道衣コントロールの際は，試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。
- ⑤胸マーキング等について，道場名等は不可とする。
- ⑥試合時に膝下より長いスパッツ等の着用は認めない。
- ※帯については，「JU ラベル」「IJF マーク」がついているものを使用すること。

〈例〉

※ゼッケンのサイズ及び縫いつけ場所



14 表彰

(1) 団体戦

- ①優勝校には，賞状・優勝杯を授与する。優勝杯は持ち回りとし，翌年の大会で返却する。
- ②準優勝校・第3位校（2チーム）には，賞状を授与する。

(2) 個人戦

- ①各階級第1位には優勝杯と賞状を授与する。第2位と第3位（2名）には，賞状を授与する。

※但し，参加者3～7名の場合は2位まで，1～2名の場合は1位のみ表彰する。

15 上位大会への出場枠

(1) 団体戦

- ① 男女団体優勝校は，全国大会，東北大会への出場権を得る。
- ② 男女団体準優勝校は東北大会への出場権を得る。
- ③ 男子第3位校（2校）は東北大会への出場権を得る。

(2) 個人戦

- ① 男女各階級第1位は，全国大会，東北大会への出場権を得る。
- ② 男女各階級第2位は，東北大会への出場権を得る。
- ③ 男子各階級第3位（2名）は東北大会への出場権を得る。

※上位大会出場者で，怪我等で出られなくなった場合，速やかに委員長に報告すること。

※全国大会出場者が怪我等により出場できなくなった場合，①2位の選手，②1位に敗退した3位

の選手，③ 2位に敗退した3位の選手の順で出場権を得る。

※東北大会出場者が怪我等により出場できなくなった場合は，男子は準々決勝，女子は準決勝で敗退した選手で決定戦を行い，出場者を決定する。

16 参加申込

(1) 申込み方法

出場校，出場選手の顧問の先生は，宮城県中学校体育連盟 web サイト内よりダウンロードしていただき，必要書類をそろえ，下記申込先に郵送すること。また，男女団体外出場校は，申込書（No.2，No.3）をEメールに添付し，同申込先に送付すること。

(2) 申込書類

- ① 柔道競技申込書（No.1）※必ず提出（校長職印を忘れずに）
- ② 柔道競技申込書（No.2）団体戦（男子）
- ③ 柔道競技申込書（No.3）団体戦（女子）
- ④ 柔道競技申込書（No.4）個人戦（男子）
- ⑤ 柔道競技申込書（No.5）個人戦（女子）
- ⑥ 外部コーチ申請書

*以上，上記必要書類をダウンロードし，記入漏れ等無いように，期日厳守で提出をお願いします。

★申込期限 令和元年6月20日（木）

(3) 申込先

〒984-0834 仙台市若林区六郷1 3 番 1 号

仙台市立六郷中学校

和 泉 大 樹

TEL : 022-289-2158

Fax : 022-294-9352

e-mail [【izumi-dai@sendai-c.ed.jp】](mailto:izumi-dai@sendai-c.ed.jp)

17 その他

- (1) 団体、個人ともに所定の期日までに申し込みのない場合は棄権とみなし以後は受け付けない。
- (2) 柔道精神に反する選手は、大会への出場を停止する。
- (3) 柔道選手らしからぬ頭髪(パーマ、脱色、染色、眉を剃るなど)等の認められる選手は、大会への出場を禁止する。各郡市、地区大会から各校で指導徹底すること。
- (4) 試合会場への出入りは、役員、監督、選手、補助員、大会に登録した外部コーチのみとする。上記以外の出入りがあった場合は、そのチームが負けになることもあり得る。
- (5) 大会申込書を提出後、選手の病気、負傷等で選手変更を必要とする場合。
 - ア 団体試合…当該校長から理由書を提出すること。(様式は特にないが職印必要)
変更届は、監督会議前の受付時において提出すること。試合当日は、選手登録の交代のみとし、体重順に編成替えをすること。(一度退いた選手の再出場は認めない。)
 - イ 個人試合…当該校長より辞退届を出し、代替りの選手をその郡市、地区が推薦し出場させることができる。変更届は当該校長名で提出する。変更届並びに辞退届は、監督会議前の受付時において提出すること。
- (6) 脳振盪対応について選手及び指導者は下記事項を遵守する。
 - ①大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(尚、至急専門医の精査を受けること。)
 - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告を提出すること。

IJF 基準柔道衣の規格等について

○袖は柔道衣コントロールを受けるときの高さまで上げた時、手首を含め柔道衣に覆われていなければならない。

○胸骨の一番上から襟の重なり合う部分まで垂直で10cm未満

○上衣の併せ目で下襟の長さが水平で少なくとも20cmなくてはいけない。

○襟幅は最大4cm、4筋縫いであること。

○上衣丈は、臀部を覆っていること。

○下穿の裾口からくるぶしの外側(足首)までの距離は5cmかそれ以下であること。

○下穿の幅は、膝の位置で、10cm~15cmであること。

○帯中央の結び目から帯の端までの長さは、20cm~30cmであること。

